

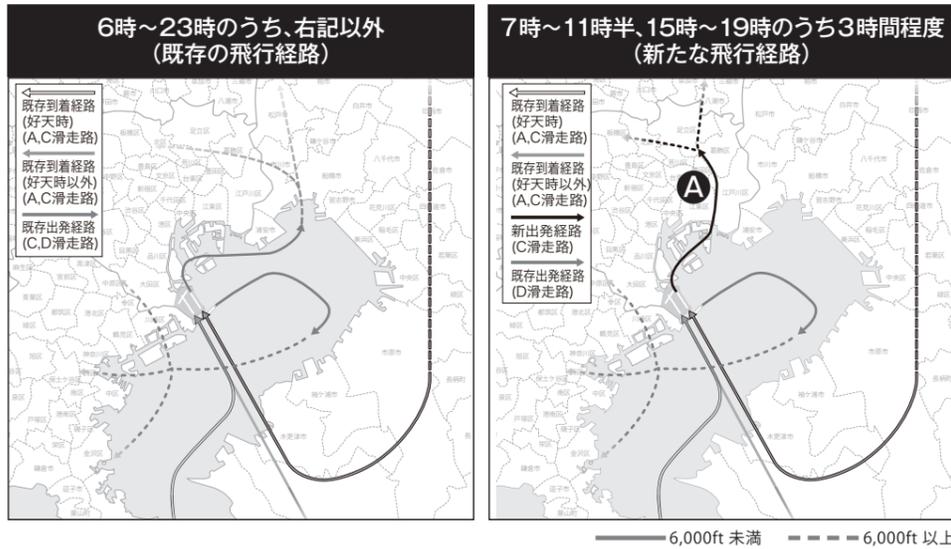
羽田空港のこれから

ニュースレター
地域特別号
2023年春

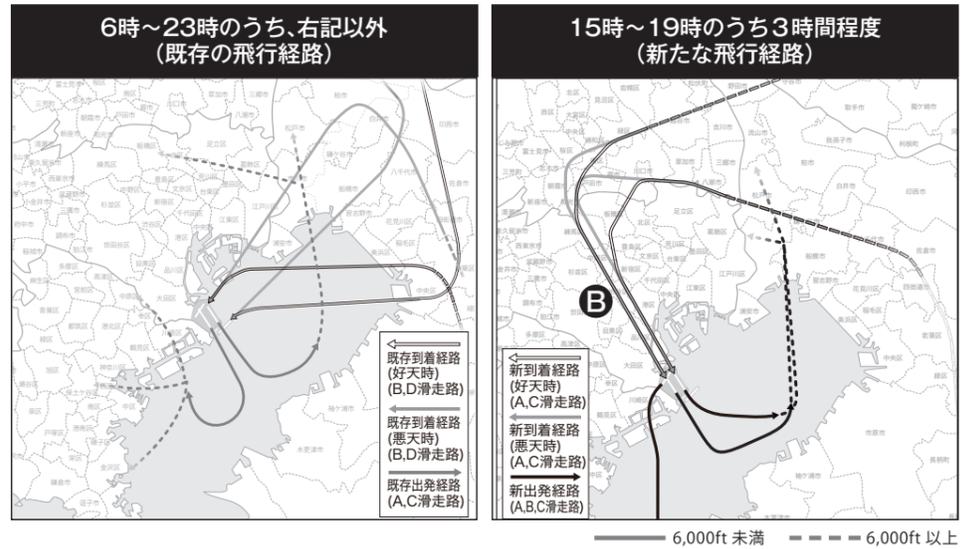
このニュースレターは、羽田空港の現在の飛行経路に関する影響軽減及び国土交通省が提案する国際線増便のための取り組みについて、地域の皆様とのコミュニケーションの状況を広くお知らせするために発行しています。

2020年3月29日より羽田空港において新飛行経路の運用が開始され、千葉県内の騒音軽減が図られています。さらなる騒音軽減策について、引き続き検討してまいります。

北風運用時の飛行経路



南風運用時の飛行経路



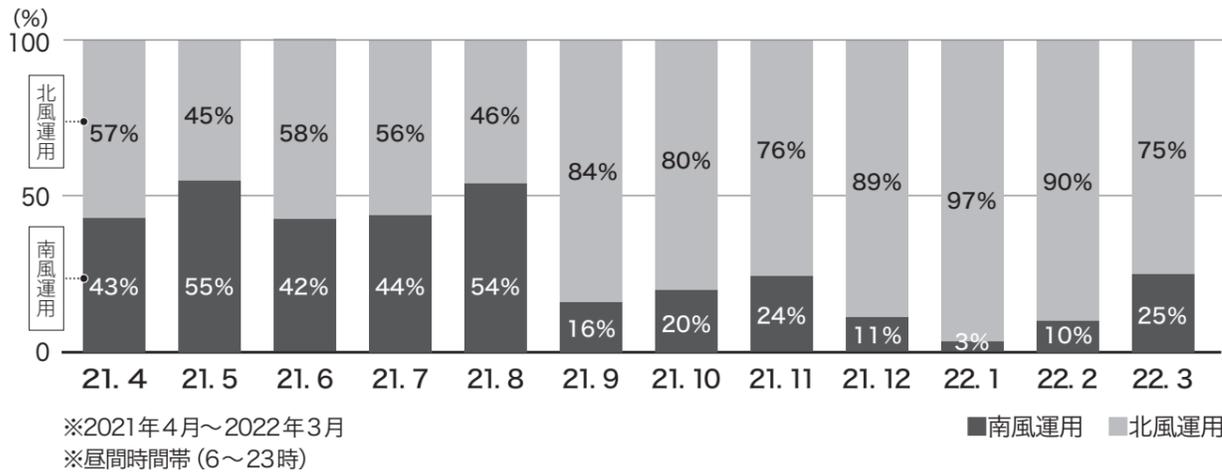
北風運用時の騒音軽減

7時～11時半、15時～19時のうち3時間程度において、離陸機が荒川の上空を利用して上昇しています。(上図A)

南風運用時の騒音軽減

15時～19時のうち3時間程度において、到着機が都心上空を飛行することで千葉県上空を6,000ft未満で飛行しなくなりました。(上図B)

羽田空港における北風・南風の運用割合



左図の通り、夏は南風運用が多いのに対し、冬は北風運用が多い傾向にあります。



新飛行経路の運用状況について

飛行経路の見直しを行ったことで、以下の日数・機数分の騒音が千葉県内で概ね軽減されています。

運用状況		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
2020年 ※2020年3月29日 運用開始	北風離陸	日数	—	—	3	29	25	25	16	24	22	31	29	30
		機数	—	—	279	1410	584	891	995	1411	1687	2555	2764	2912
	南風着陸	日数	—	—	0	17	20	21	20	23	10	4	7	3
		機数	—	—	0	818	713	981	1377	1849	538	266	491	213
2021年	北風離陸	日数	31	25	27	25	23	25	24	19	28	30	25	31
		機数	2197	1170	1619	1527	1305	1627	1629	1412	2471	2506	2568	3304
	南風着陸	日数	1	17	15	19	21	22	16	21	8	9	11	7
		機数	12	643	826	1231	1532	1258	1118	1716	563	696	976	478
2022年	北風離陸	日数	31	28	29	24	24	21	17	16	28	30	集計中	
		機数	3382	2306	2611	2356	1898	1595	1097	1624	2837	3361		
	南風着陸	日数	2	5	12	15	19	22	25	17	8	5		
		機数	205	441	1033	1491	2114	2379	2971	1888	693	475		

※限られた時間の運用であっても新飛行経路を運用した場合は、運用日数にカウントしています。

✦ ご質問にお答えします

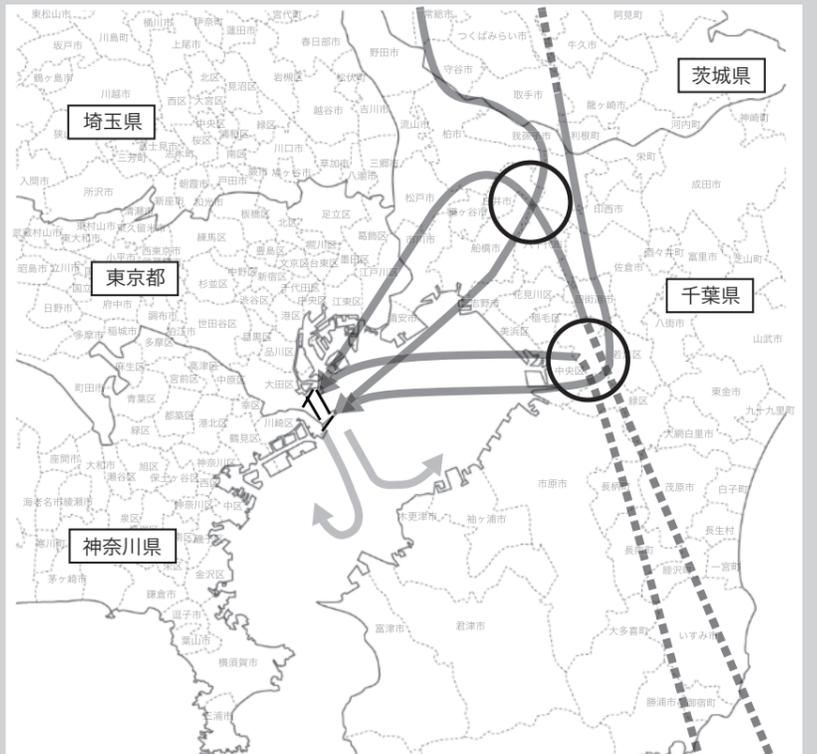
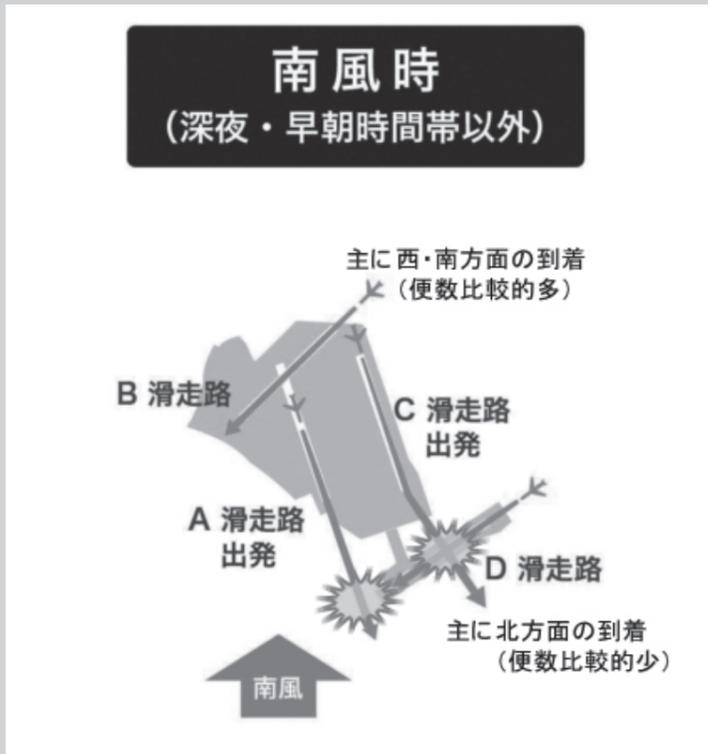


南風運用時の着陸経路で、交差する着陸機がみられるのはなぜですか？

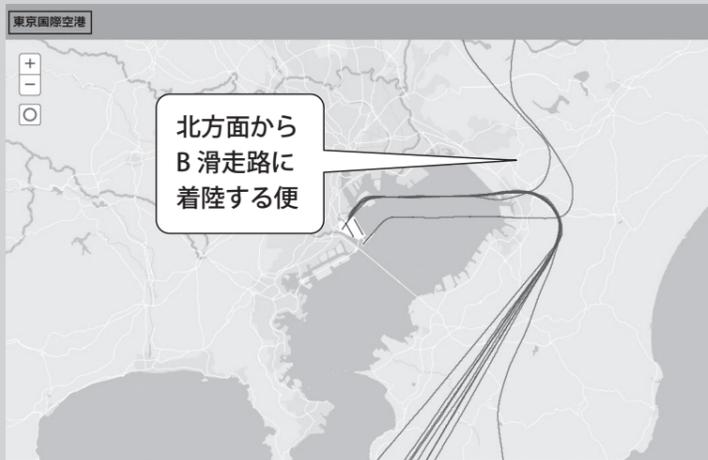
発着の回数を最大限に発揮させるためです。



南風運用時には、A・C滑走路から出発機が離陸するため、D滑走路への到着機との競合が発生します。そのため、機数の多い南西方面からの到着機をB滑走路に、機数の少ない北方面からの到着機をD滑走路に着陸させることで発着回数を最大限に発揮させています。



上述の運用を行う中で、一時的な到着機の増加や、突発的な滑走路閉鎖などに対応するため、安全性と発着回数の確保の観点から、到着滑走路の振り分けを行うことがあり、交差しない場合があります。



北風運用時の到着経路をできるだけ海の上でできませんか？

富津沖海上ルートをさらに運用するための取り組みを続けています。



北風運用の好天時（視界が良く、決められた地点から海ほたるの地標航空灯台が視認できる場合）に使用することができる富津沖海上ルートの最大限の活用により、地上への影響軽減を図っています。なお、運用状況は新型コロナウイルス感染症の影響による減便下での数値のため、安定的な数値とは言えず引き続きモニターが必要です。

富津沖海上ルートの運用状況

当初見込み	2019年度	2020年度	2021年度
25%	21.0%	26.8%	31.4%



羽田空港を離発着する航空機の日々の運用はどのように決まっていますか？

気象状況等を総合的に判断しています。

羽田空港周辺の風向きだけでなく、首都圏全体の気象状況をもとに、航空機が安全に離着陸できるように決定しています。航空機は安全のために、基本的に風に向かって離着陸します。羽田空港の場合、その時々気象状況をはじめさまざまな要因を考慮し、南風運用と北風運用の2種類のいずれかを選択して運用しています。

新飛行経路の運用開始後、騒音は少なくなっているのですか？

新飛行経路運用前と比較して低下していますが、引き続きさらなる騒音軽減策について検討してまいります。

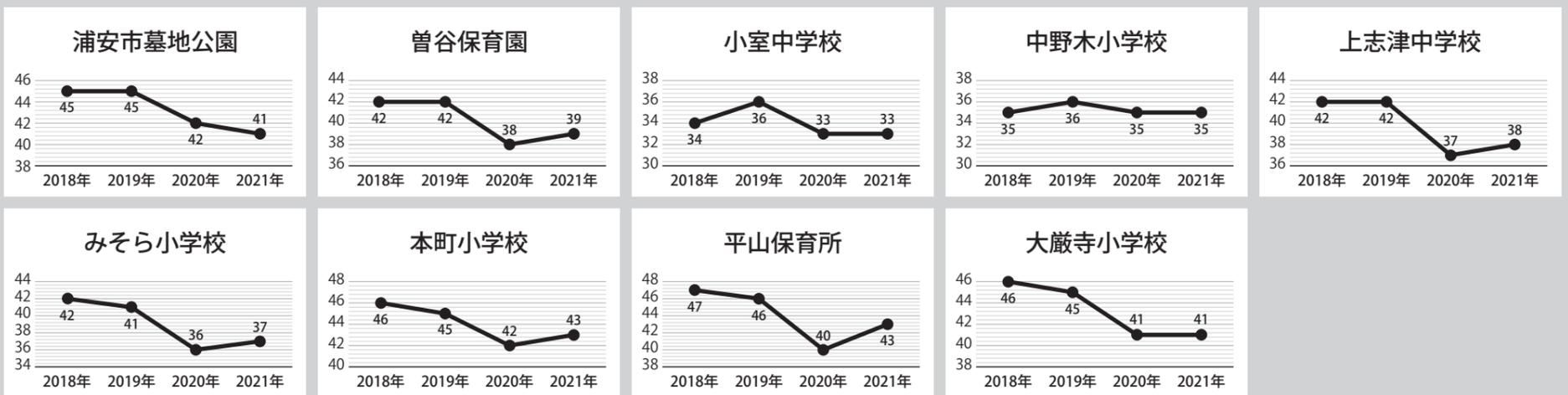
南風運用到着経路下・北風運用出発経路下に国土交通省が設置している騒音測定局における、2021年の測定結果（時間帯補正等価騒音レベル：Lden エルデン^{※1}）は新飛行経路運用前（2018・2019年）と比較して低下しています。この結果は、新飛行経路の運用開始や、新型コロナウイルス感染症の影響による航空機の減便・機体の小型化や低騒音機の導入^{※2}等の複合的な要因によるものと考えられます。新飛行経路運用開始による効果については、引き続き新飛行経路の運用を継続し、モニタリングと検証を実施してまいります。さらなる騒音軽減策について、引き続き検討してまいります。

千葉県内の航空機騒音測定局（経路の変化がない木更津局、君津局、富津局を除く）の測定結果



測定局	施設名
浦安局	浦安市墓地公園
曾谷局	市川市立曾谷保育園
小室局	船橋市立小室中学校
中野木局	船橋市立中野木小学校
佐倉局	佐倉市立上志津中学校
四街道局	四街道市立みそら小学校
本町局	千葉市立本町小学校
平山局	千葉市立平山保育所
大蔵寺局	千葉市立大蔵寺小学校

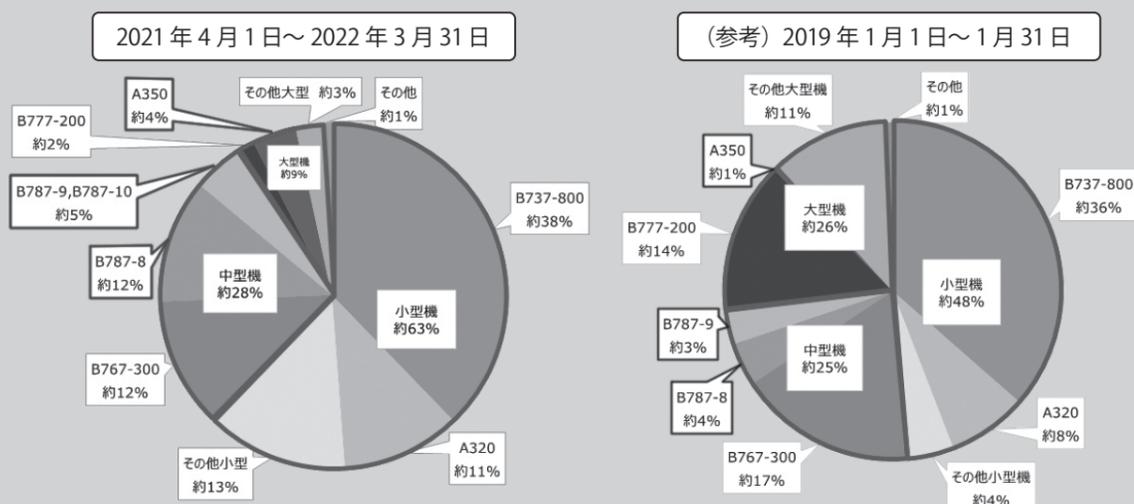
年間Lden値の推移



※1 Lden：時間帯補正等価騒音レベルのこと。騒音を音の大きさ、継続時間、発生時間帯の3要素を用いて評価する。

※2 羽田空港に就航する機種割合（機体の小型化や低騒音機の導入）

2019年1月1日から1月31日までの低騒音機（表内A350、B787）の割合は約8%なのに対し2021年4月1日～2022年3月31日では約21%に増加している。



※ヘリコプターを除いて集計しています。

羽田に就航している主な航空機

	小型機 B737-800	座席数177席 全幅34.4m 航続距離6,260km	全長39.5m 航続距離6,260km
	中型機 B787-8	座席数264席 全幅60.1m 航続距離9,930km	全長56.7m 航続距離9,930km
	大型機 A350-941	座席数369席 全幅64.75m 航続距離5,900km	全長66.8m 航続距離5,900km

※機材の座席数などの値は、代表的な例を示したものです。



羽田空港に関わる取り組みについて本ニュースレターやホームページ、電話窓口などさまざまな方法で情報提供を行っています。



東京国際空港を離着陸する航空機の飛行実態及び騒音状況の情報を公開しています。

羽田空港飛行コースホームページ

羽田空港飛行コースホームページ

検索

<https://www.ntrack.mlit.go.jp/NtrackTop/show>



東京国際（羽田）空港に離着陸する航空機に関する飛行コース及び航空局が首都圏に設置している騒音測定局の測定値について、アクセス日の前日から1カ月前までの記録をインターネット上で情報提供しています。

■ トップページ



現在の運用状況を表示しています。

■ 羽田空港を離着陸した航空機の航跡動画



1. 日時を指定します。

2. 地名を指定します。

3. 測定局(■)を押すと騒音値が表示されます。

4. 動画速度を変えたり、任意の時間にジャンプできます。

対象範囲

羽田空港における出発機及び到着機

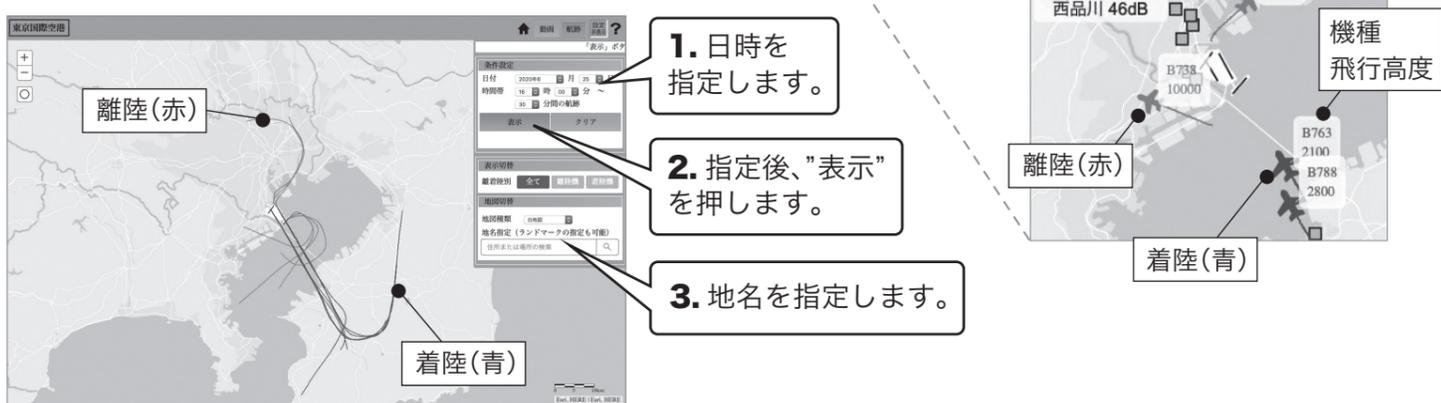
<出発機>

概ね10000フィート(3050m)以下

<到着機>

概ね6000フィート(1830m)以下

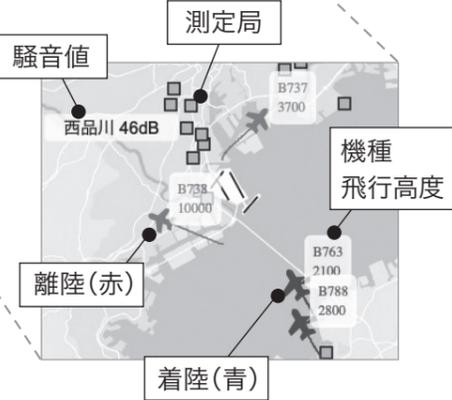
■ 羽田空港を離着陸した航空機の航跡図



1. 日時を指定します。

2. 指定後、「表示」を押します。

3. 地名を指定します。



■ ホームページがリニューアルして、情報がさらに充実しました。

<https://www.mlit.go.jp/koku/haneda/>

羽田空港のこれから

検索



本号でお知らせした内容をはじめとして、上記のホームページにて羽田空港に関する最新情報を掲載していますので、ぜひ活用ください。ご意見ご要望もこちらのホームページからメールフォームで直接投稿できます。



■ 航空機騒音・落下物等に関するお問い合わせは

Tel 0570-001-596

受付時間：7:00～20:00 [土・日・祝含む]

お問い合わせ番号の一本化に伴い、2021年1月31日にて、0570-001-160の番号でのご案内は終了しました。